



中区・磯子区・金沢区
まかど政治回廊

編集・衆議院神奈川1区支部
編集長・平木 茂
郵便番号・231-0064
横浜市中区野毛町2-65
電話045(241)7800
ホームページ www.jun.or.jp

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
定価1部 105円(税込)
<毎週火曜日発行>

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

安倍幹事長の誕生が示した大きな政治の変化

「いま、その戦列に—」松本純・神奈川1区支部長が語る



私たちが、新しい時代を築きます!

改革の推進へ

自民党幹事長に就任した安倍晋三さんの人事が、「小泉マジック」として大きな話題になりました。

安倍幹事長は、就任後、「私が幹事長になったということ、自民党が変わったという証拠です」と語りました。今回の自民党総裁選は、これまでの「永田町の常識」が崩壊しつつあることを示しました。そんな状況の中で、いよいよ解散・総

選挙が行われようとしています。

安倍さんは、幹事長就任の日が、四十九歳の誕生日。その若さも当選三回というキャリアも異例です。

四〇代の幹事長就任は、田中角栄、小沢一郎、三木武夫の各氏以来四人目。当選三回は、奇しくも安倍さんの祖父である岸信介元首相と同じですが、ここに挙げた人たちは、みな幹事長以前に閣僚を経験していました。閣僚経験ゼロの幹事長は、安倍さんが初めてです。

岸首相の思い出

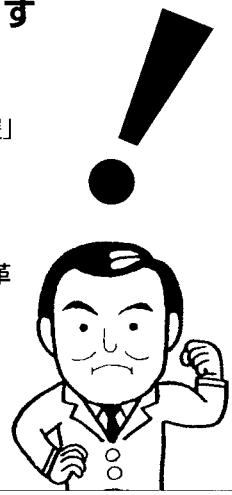
さて、安倍さんの祖父、岸元首相といえば、政治家としての私のルーツとも言える人です。実は私の少年時代にこんなことがあったのです。

総選挙が行われた昭和三十三年五月、八歳の私は桜木町駅前に選挙応援に来た岸首相(当時)を、産婆をしていたツネおばおちゃんと一緒に見に行きました。そして持っていた五百円の豆力メラで岸さんの写真を撮った私はそれを、「ぼくは一生懸命勉強しています。岸さんもお国のためにがんばってください」という手紙とともに岸さんに送りました。すると後日、岸さんから、「明るく清く正しく強く」と書いた色紙が届いたのです。

もちろん、その当時から、私が政治家を志していたということはありません。ただ、そのことを報じた古い新聞の切り抜き

松本純は「3つの政策」の断行を皆さまに約束します

- ①暮らしに「安心」をもたらす
社会保障制度改革
 - 「年金・医療・介護—制度の充実」
 - 「3年で待機児童ゼロ—子育て支援」
- ②真の経済再生を目指す
小泉「構造改革」の推進
 - 規制改革 ●行財政改革 ●教育改革
- ③警察官の大幅増員による「治安」の回復
 - 「5年で治安の危機的状況を脱する」
(自民党治安強化小委員会による緊急提言)



拉致事件の解決へ

安倍さんとは、安倍さんが二期生で自民党社会部会長、私が一期生で副部長という関係で、厚生関係の仕事と一緒にしました。そこで発端した安倍さんの問題解決への固い意志と粘り強さは、官房副長官として北朝鮮による拉致事件解決に取り組んだ安倍さんの毅然とした態度と一直線につながっています。

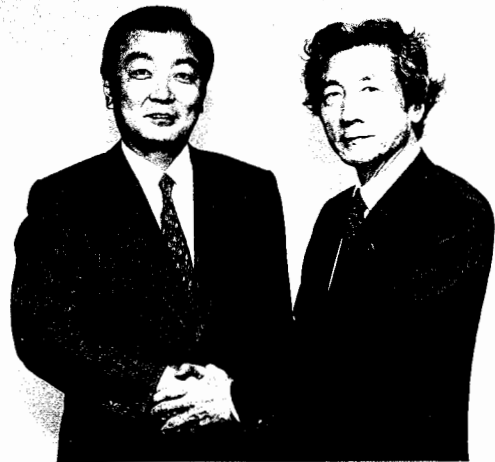
「選挙の顔」と言い、小泉改造内

閣を「選挙管理内閣」と言う人がいます。おおかたのマスコミもそういう見方をしています。しかし、そこでどうでしょうか?

今回の自民党総裁選—役員人事—内閣改造を見ると、政治を動かす力が、これまでの永田町の力学から、国際的な政治経済情勢や歴史の大きな流れという、ごくまっとうなものに変わっていくということを感じます。

今回の総選挙は、まさにこうした歴史的な状況の中で行われようとしているのです。私は、安倍さんに代表される若い力とともに、その流れを確かなものにしたと痛切に考えられています。
(談話まとめ・編集部)

自民党役員・内閣改進黨で見せた「小泉マジック」 ポスターに込めた「松本 純 6つの顔」



「松本純まちかど政治瓦版」で松本純のポスターに印刷された六枚の写真に込めた私の思いを紹介してきました。最終回は、真打ち登場、小泉純一郎首相とのツーショットです。

自民党総裁選での小泉首相の再選と、その後、小泉さんが見せた自民党役員人事・内閣改進黨は、国民の皆さんの大きな支持を受けました。それは小泉さんが、国民の皆さんがうんざりしていた「永田町の論理」に大きな風穴を開けたからではないでしょうか。

私もその渦中において、感じたことですが、国会の中になると、ともするとそこで通用する常識に埋没して、社会の常識を忘れがちになります。それが国民の皆さんの政治不信・政党離れを招いているわけですが、今になって考えると、もともとそうした空気に染まらない政治家が、小泉さんだったのではないのでしょうか。「愛人」と言われた小泉さんですが、まさに永田町の変人こそが、社会の常識人なのです。

小泉さんは、「自民党を変える。変わらなければ、ぶっ壊す」と言いました。そのとおり、今回の総裁選では、長らく自民党の中核であった大

派閥が機能不全に陥りました。幹事長に安倍晋三さんを抜擢した人事も、国民の皆さんよりも自民党の議員自身により大きな衝撃を与えました。それを「驚天動地」と表現した議員さえいます。これまでの自民党だったら考えられない人事だったからです。

小泉さんの進める「構造改革」には、本当の明るさが見えてこない日本経済の現状から、「構造改革より景気対策を」という反対意見が根強く存在します。しかし、構造改革は、アメリカではレーガン大統領が、イギリスではサッチャー首相が、それぞれ国内に反対の声がある中で断行し、ともに経済の活性化をもたらしたものです。

その構造改革を後戻りさせたいいけない、と私は考えます。と同時に、それによってもたらされる国民の皆さんの「痛み」を和らげる努力をすることが、私たちが政治に携わる者に与えられた課題だと思えます。



松本純さんと一緒に
社会部会で汗を流しました。
新しい時代の年金改革は、
私たちが実行します。

安倍晋三

応援のため 安倍幹事長 きたる!

女性の集い 10月22日(水) 16:30開会 横浜プリンスホテル



まつもと じゅん プロフィール

昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ。本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師。製薬会社を経て、(有)松本薬局に入社。現在は代表取締役。本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長として、街づくりや地域活動に取り組む。平成2年、横浜市中区補欠選で初当選3期務める。平成8年、衆議院総選挙で神奈川1区当選。専門を生かして医療・福祉・介護・年金などに全力投球。平成12年の総選挙で次点落選。現在は自民党衆議院神奈川1区支部長として国政復帰奮闘中。